

緊急の国際情勢下に、「拡大へ」の見通しを探る

華国鋒新体制で



燈台下暗しの
「北京政変」

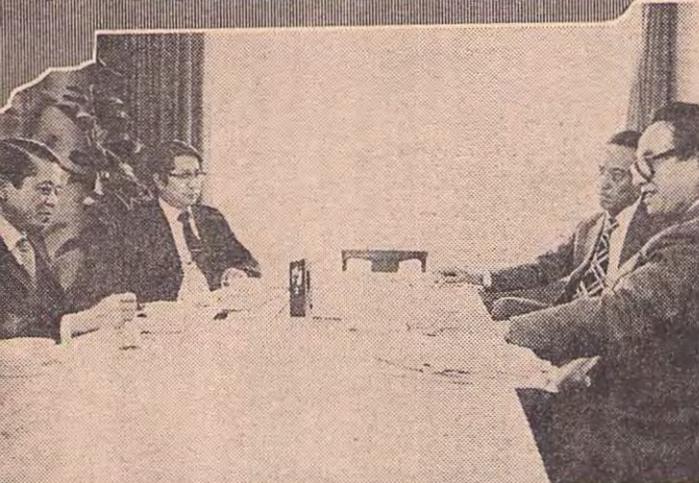
中国では、毛沢東主席
がなくなって一ヵ月、政変のな
から華国鋒体制が発足しまし
たが、新体制の日中経済関係が
どう動くか、という見通しにつ
いて大いに話合っていたのだと
思います。

まず、十月四日から十一日ま
で「藤山ミッション」で訪中さ
れ、華国鋒主席の登場と、江青

毛沢東主席の死去から一ヵ月、中
国では「四人組」のクーデター未遂
事件といった政変の嵐が吹き荒れ、
赤旗とデモと集会の渦の中から「華
国鋒体制」が誕生した。そして、こ
の春から不振に陥っていた日中貿易
の面でも、「拡大」の空気が伝えら
れ、明るさを期待する向きも少なく
ない。日中貿易の今後はどう動くか。
第一線の中国担当者にお集まり願
い見通しを語ってもらった。

★緊急座談会

『経済界』
1951年11月23日号(1951年)



出席者

- | | | |
|----|-----|-----------------------|
| 海野 | 武氏 | (日本興業銀行産業調査部長) |
| 小本 | 栄一氏 | (川崎製鉄輸出総括室長) |
| 谷村 | 博氏 | (三菱商事中国室長代理) |
| 中嶋 | 嶺雄氏 | (東京外国語大学助教授)
(順不同) |

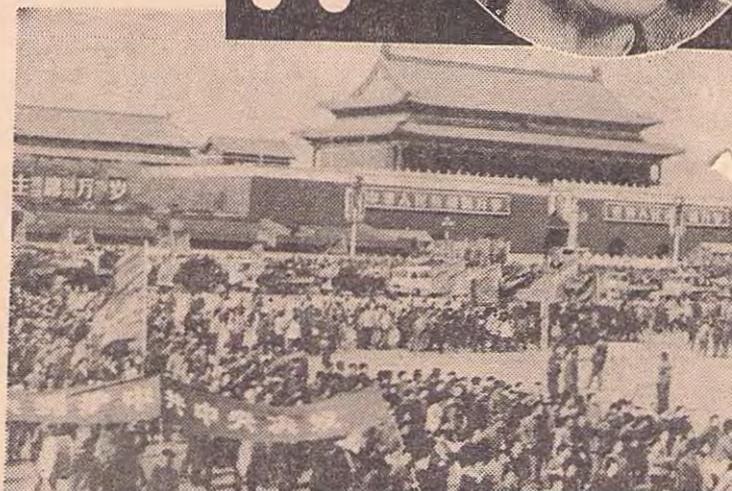
女史ら上海グループのクーデター未遂事件の表面化の時期とも、ちょうどぶつかった海野さんと谷村さんに感想といったあたりから話合っていただましようか。

海野 ちょうどその当時、わたしたちは、北京飯店に宿泊して関係先を回っていた。ただ、燈台下暗して、(政変について)はつきりわからなかったのですが、十日に、新聞記者から、党の中央委員会は蔣国鋒氏を国家主席にする、という決定をしたという情報が入った。しかし、公表はされてなく、翌十一日、中国銀行で聞いてみても、「われわれには何も知らされていない」という返事だった。何かあった、という感じはしたが、それは蔣国鋒新主席が決まった、というニュースであり、江青女史ら四人が追放されるというようなことではなかった。

ただ、あとで考えてみると、谷牧副首相にお会いしたが、その時の話で「修正主義に対しては、断固として闘う」ということを強調していた。その辺で、「何かあったのかな」という感じがしたわけですが。

谷村 九日の午後四時から六時、谷牧副首相との会見で、谷牧さんは「今年の日中貿易は減る」と断定した。その理由は、「一つは、誤った路線の介入がわざわいしたこと。もう一つは自然災害だ」という説明だった。

日中貿易は どう変わるか?!



自然災害というのは、河北大地震の影響、東北地方(旧満州)の霜害による大豆の不作ということですが、この時は、サーアッと聞き流した。

今から考えると、「誤った路線の介入」というのは、「右も含まれた急進左派の介入」をいっていたわけですね。会う人ごとに確認し続けたのだが「いずれ公式発表があったらわかる」というだけで、とうとう帰るまで確認できなかった。

それで、十一日に帰国して、当日の夜中、ロンドンからの急報で、四人の逮捕とクーデター未遂事件が伝わった。

海野 九日、藤山(愛一郎)さんが、谷牧副首相に、毛主席の追悼を申し上げた。それに応え

海野 武氏

られたあと、谷牧さんはこういった。

「当然マルクス主義者の観点からみれば、闘争はやめられませんが、あるいは毛主席逝去の期に乗じて、今日または明日、別な旗を掲げて、毛主席の方針・政策を改ざん修正しようと、企む者がいるかもしれません。しかし、そのような人物が頭を表わしたなら、われわれは芽のうちに引き出して打倒します。なぜなら、われわれの党は、毛主席が自ら育てた党であり、われわれは長期にわたる路線の闘争を経験しており、本物とにせ物のマルクス主義者の区別をする能力を持っているからである」と。

谷村 これは、ドンピシャリだ。この意味は、あとで思い出すと、一番大きいんじゃないかな。

中嶋 「クリスチャン・サイエンス・モニター」紙が、早くから、「どうもおかしい」ということを報じていた。たとえば、九月十八日の毛主席の葬儀のあと、役人が一度喪章をとった、という。十八日に喪があげた、という確認があったんじゃないか、という問題。

というのは、中国では、葬儀までが喪なので、周恩来首相の時もそうだった。それを喪中としていたのは、喪という、ある種の政治休戦が必要だった。

また、十月一日の国慶日に、「慣例の三紙共同社説」が出なかった意味は大きい。

谷村 国慶日に、なぜ「共同社説」がでないだろうと、おかしいなと思いつながらも、それ(政変)に気がなかつた。

中嶋 政治休戦を、毛主席の死後一カ月の十月九日までとしたが、それが来ないうちに、まさに食うか食われるかの「階級闘争」があったのではないかと、思いますね。

「貿易の基本線は変わらぬ」

——ところで、今年二月の「鄧小平批判」以来、この三年間に約四倍にも伸びてきた日中貿易にブレーキがかかり、今年

時、中国側から「実は、貿易全体の見直しをはじめています。だから、夏の終りか秋まで待つてほしい」といわれているからです。

は、国交回復以来、初めて前年を下回った。河北地震などの「天災」は別にして、その最大の原因が中国の政変にあるとみられるだけに、華国録体制が誕生した現在、日中貿易は拡大への明るい見通しが立つと思われ

ますか。

谷村 そこに相関関係を求めることは疑問です。というのは、今年の春も、三月、四月、五月と訪中しますが、その

谷村 ところが、その当時は、走資派批判のあたりだと思っていた。手直しには、自力更生が相当強く出て、内需優先イコール日中貿易の縮小均衡という、いやな予感でみていた。

それが、左に振れた振り子が少し真ん中へ戻ってくる。その一つの現れに、鉄鋼商談があるんじゃないですか。

小本 これまでは、値段を決めるのに、一ヶ月近くかかったが、今回は十日ぐらいで決まった。数量も、上期を大きく上回り、一五〇万、近い成約量に回復した。新日鉄の発表で「価格は、満足すべきレベルでは、必ずしもなかったが、こういう風に短期間の商談ができたのは、非常に大きな成果だ」とコメントしているが、まさにそうだ。

海野 中日友好協会会長の廖承志さんとか、対外貿易相の李強さん、谷牧副首相、王麗庭中国国際貿易促進委主任などに会った感じでは、「日中貿易の基本線は変わらない。将来拡大均衡に持っていくんだ、という精神は変わってない」と思った。

中嶋 今までがアブノーマルであって、これから皆さん方の活躍の場面(笑)が、出て



小本栄一氏

大衆の中に伝播し、支持を得たと思う。ことに河北大地震は、人間の主観的な動勢だけに依拠した「人が天に勝つ」という毛沢東型社会主義のウィーク・ポイントを気づかせた。

くる気がする。まず、現況をどう評価するか、ということだが、当面は、文化大革命までが清算されると思う。そうすると、その過程で、当然走派が台頭する。鄧小平は、すでに地下墓において、今回の事件と、どっかで結びつけていたかもしれない。また、毛沢東は正しくとも、文革派は浮き上って悪かった、という批判が出ると思う。そして、次の段階では、そういう論理が、毛沢東自身にも及ぶかもしれない。

しかし、いずれにせよ、基本的には、四つの近代化に周恩来路線になっていくだろうと思う。そして、この四つの近代化というのは、去年の、全国人民代表大会の政治方針のなかで提起され、採択されたわけだから、当面の、中国の国家レベルの承認を得た基本路線だ。ところがこれを、具体的に進めようとした鄧小平は、階級闘争を忘れて、いくつかの悪辣なプログラムを作ったとたたかれた。しかし、たたきおせず、今年の内容は、やはり経済建設も大事であり、四つの近代化自身は否定しないんだ、と文革派は一步後退しながら、鄧小平個人に向かって攻撃の矢を絞っていた。

「華国鋒体制」 成立の秘密は

谷村 華国鋒の新体制をアッブ・ツィ・デイトでみれば、十月八日の決議の内、まず、毛沢東の記念堂を作るといふことは、それ自体、求心力を持たせるというところで、非常にいいこと

だと思、目すべきなのは、もう一つの決定。いわゆる毛沢東選集第五巻と全集の編集リーダーに華国鋒を任命したこと。この意味は、ものすごく深い。第五巻というのは、新中国成立以降の、現在に至るまでの著作だ。ところが、この中には、文革以降に急進左派が改ざんまたは捏造したものが必ずあると



新日鉄専務
阿部 謙

日中貿易の飛躍的増大は過剰期待だ

今から考えると、「政変」の真最中の十月五日から十日まで鉄鋼商談で中国へ行っていたのだが、全然わからなかった。北京の市中はきわめて平靜だし、李強対外貿易部長と会った時でも、そうだったことは、毛はど

も感じさせなかった。今後どうなるかは予想し難いが、極左といわれる人たちが排除され、華国鋒のような周恩来系の人たちの優勢が伝えられても、毛沢東の政治優先の思想は

変わらぬと思う。というのは、九億の人民を満足させるには、経済状態が飛躍的に上らなければならぬが、それが難しいから、政治優先の毛主席の思想が続くと思われるからだ。中国革命から二十七年たつ

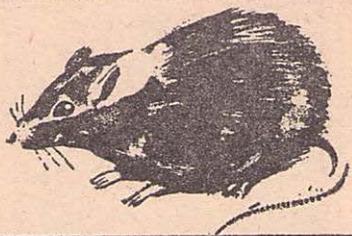
思う。それを意識して、華国鋒がチーム・リーダーになったのかどうかはわからないが、ここで必ずセレクトされる。それによって、あとでなるほどと思える節がもつと出てくるんじゃないか。

また、華国鋒体制をどうみるか、ということだが、九割以上、大多数の中国人民は農民で



谷村 博氏

す、この農民に根を上ろしたり
ーダーでない限り、人望を集め
られないと思う。
いわゆる上海グループなんて
いうのは、都市出身のブチブル
です。ところが華国鋒は、出生
はちょっと定かではないが、地
方の党書記を長いことやって
特に湖南省で大灌漑工事をやっ



キヤッチは抜群。

セットは簡単。

くるくる巻きとる
ネズミとり……

チュークリン

新発売



一般用 1,000円
業務用 3,000円

粘着シートネズミとり
PAT. No. 717282

イカリ消毒

●お問い合わせ
東京…03(356)6191
大阪…06(541)5045

てることが最近になってわかっ
た。だから、農民に根づいたと
いう点では、うってつけだと思
う。

濃厚、徳実というタイプで、軍
の長老の粟剣英国防相などの人
脈に、非常に好感を持たれてお
る。そういう点じゃ、華国鋒体
制は、まだ安定要因で強い。

中嶋 わたしもそれに異論は
ないが、最近、華国鋒について
調べてまして、気づいたのは、
確かに農村工作は事実ですが、
農村工作といっても、彼自身農
業をやってきたんじゃないくて、
農民工作、つまり、いかに合作
社を組織化するのか。その弊害に
なっているのは何か、といった
ことであって、そこが若干違う。
華国鋒は、その経歴はよくわ
からないが、湖南省に二十年い

る。その前は中共中南局にい
る。その時は組織部および統一
戦線工作部。

中国共産党の場合、組織部と
いうと特務部、統一戦線工作部
という、党外人種、華橋など
の特務的な捜査をやる。華国鋒
の経歴の中に、一貫して農村問
題とともに公安的な面がある。

であるがゆえに、華国鋒の前歴
もあまり明らかになってない。
やがて、湖南で副省長をやる
が、その時も党委員会の統一戦
線工作部長をやる。

毛沢東の故郷でもある山西省
交城県の県農業委員会書記の時
華国鋒が書いた唯一の論文「農
村各階層の動態を十分研究せ
よ」というのがあるが、決して彼
自身は土くれた農民じゃない。
これは、おそらく、華国鋒が

去年一月に公安大臣に任命され
たこととか、八三四一部隊と中
央警衛処を指揮する汪東興とも
結びつく。

権力中枢において、これほど
の子告クーデターを実現できた
のは、やはり華国鋒が公安的な
面をもっていたことは無視でき
ない。

谷村 そういう背景があれ
ば、よけいに、華国鋒が暫定政
権が長期安定政権か、という問
題は微妙ですね。

中嶋 ぼくは、華国鋒は、ベ
リアか、マレンコフかのどっち

かだという気がする。

海野 ある偉大な指導者の後
継者が、その指導者と長年行動
をともにしていた人がなるんだ
と、バランス・オブ・パワーの
上につかってやっていけるだ
ろうという気がするが、意外な
人が出てくると、果たしてリー
ダーとして安定するのか、どう
か。

中嶋 その場合、華国鋒が、
われわれには意外でも、彼らに
とっては、案外意外じゃないの
かもしれない、ということはお
る。

貿易不均衡の解決策は……

鉄鋼商談や、広州交易
会への「クーデター未遂事件」
の直接的影響というのはいま
したか。
小本 われわれのミッション
では、全然影響はないようだ



天安門上の中国首脳

す。デモが出るので、一日商談をやめたという程度でした。

中嶋 今度の事件は、日本史でいえば「八・一五」、八月十五日ではないか、という気がする。権力構造も、大衆の心理状況も、そう移行すると思うが、つまり、スターリンが死んだ時と似ている。中国では、状況がもっと流動的であるだけに、転回の方も強いんじゃないか。

では、日中貿易が拡大の方向へ行くとして、そこで最大の問題は、輸出入のアンバランスです。昨年一年間で、日本

側の輸出超過は七億三千万あり、今年も八月までで、五億二千万の出超になっている。

海野 日本からの輸出で、大きな値を占めるのは、鉄鋼、機械といったもの。それに対して輸入するのは、石油が金銭的に非常に多い。あとは、食糧品その他、伝統的な商品で、そこに問題がある。というのは、日本からの輸出は工業製品で、付加価値も高く、金額が張る。中国から来るのは、石油以外は一次産品がほとんどで、量的にも金額的にも少ない。この貿易のアンバランスをどう修正するか

が基本的問題だろうと思う。お互いに話合って、新商品を見出す、というようなことではないかと、拡大均衡はできないんじゃないか、という感じがする。

小本 中国の、全世界との貿易はどうなっていますか。

海野 七二年は黒字。ところが七三年が一億七千万の赤字、七四年が九億五千七百万の赤字、七五年も赤字、ただし幅がちよと縮まった。

小本 そうなると、日本との貿易での赤字幅が圧倒的だね、谷村 ただ、このアンバランスを一挙に解決するのは至難の

わざだ。中国が、それを脱却するために、付加価値を高める製品を作る工業基礎を早く充実しなきゃダメだ。

海野 今回、三菱商事の藤野(忠次郎)会長が、輸入拡大のために「新商品の開発と伝統商品の見直しを研究協議する会」を作ろうじゃないかと提案をされた。

谷村 これこそ、オール・ジャパンで考えなきゃいかん非常に大事なことだ。今の中国は、非常に大人的態度で、輸出入のアンバランスなんて、そんなもの歴史の間の一秒じゃないか、という言い方をし、くよくよしなさんな、日本側がむしろナーバスになりすぎているといわれた。ところが、そうじゃない。今からグローバルに取り組まないと、必ず問題が起きてくる。

海野 中国側では、そういう新商品発見のために研究協議会を作ること、初めはそうとびついてくる感じじゃなかった。

谷村 なかったですね。ただ、後になって谷牧副首相も李強貿易相も「必要はある。正しい意見だ」といっていた。

海野 それから中国は、輸入するためのバンク・ローンを目本から貸してあげようといっ



アジア石油会長 長谷川隆太郎

一刻も早い「日中平和条約」の締結を

そして、日中貿易を盛んにするために、中国からの輸入をもっと増やす必要がある。特に四十九年の中国原油の輸入にみられるような、不況だからと契約の一部をキャンセルするようなことは困ったことだ。今までは売ることだけに熱心で、買うことが少なかったが、これを改善しないとイケないのではないか。

また、アメリカは大統領選挙がすんだあと「米中友好条約」を子定しているという。うかうかすると、再び頭越しに出し抜かれる恐れは十分だ。だから、日本もはや「平和友好条約」の締結をすべきである。「覇権」問題でソ連に遠慮したところで、メリットはないのである。(談)

「哲学」が許さないとということで借りない。結局、延べ払い、短期にユーザンスという形になる。したがって、必要なものをできるだけ早く輸入するという体制も、その辺に限界があるのではないか。

谷村 これの応用をもっと研究すべきだろう。たとえば、この春、稲山さん(新日鉄会長)のアイデアで、普通鋼と石油との

パーティー方式をトライした。海野 オーストラリアの人に会ったら、中国との貿易を促進するために、パーティー取引が一番いい、といっていた。

谷村 だが、パーティーだけに徹すると、縮小均衡になる。だから完全なパーティーじゃなく、リンク・トレーディングをやるべきだと思う。本質的にはパーティーでしようけど。

新しい人間環境開発にチャレンジする三機。



三機は、都市設備機能の広い範囲にわたって、エコロジカルアプローチを行い、各部門の技術を結集して、総合システム化を積極的に推進し、快適な人間環境開発に積極的に取り組んでいます。

都市エコロジー産業の新しい手

三機工業

本店 東京・日比谷・三信ビル TEL.03(502)6111
支店 大阪・名古屋・福岡・札幌・広島・仙台・北陸
出張所 横浜・高松・静岡・豊田・岡山・金沢

海野 今度の鉄鋼取引は、現金決済？

小本 あれば、現金決済。何も外貨が潤沢だから買うんじゃないかと、最優先的に基礎資材についてはワクをもうけておりまして、という説明だった。

実権派の方が ヤツカイダ！！

中嶋 必ずしも中国貿易がベイしない、ということを目にする。が、コマーションベースには乗っているでしょう？

谷村 商売だから、損も得もあるわけです。じゃ、全体で損していいのか、といえば損してない。損してたらやらな



中嶋 嶺雄氏

に敵しいところ
です。でも日本
の産業構造にマ
ツチしている市
場であることは
確かだ、この点
からは逃げられ
ない。

中嶋 第一線

にいらっしやる

い。商売の原理で。
海野 でも、中には損してる
のもあるというが。

谷村 ある。でこぼこをなら
したら、ちよぼ黒というところ
で、時には、損しても商売や
る。日中貿易というのは、隣に
控えた大きなマーケットという
点では、確かに注目される。
が、自由圏とやるほどの利幅が
あるかという、ない。まこと

方は、あまり過剰な期待をもた
ないわけですが、一般的な、日
本の中国への対処の仕方には、
百八十度の転換が普通でしょ
う。すでに、そういうナダレ現
象が若干起こっている。ついで
のあいだまでは文革派が勝利し
て、江青、王洪文、張春橋がリ
ーダーだといっていたのが、今
度は、その文革派に、いかに暗
いカゲがあつたか、浮き上がっ

ていたかということはい始め
ている。ですから、甘い過剰期
待を持たれても困るので、やっ
ぱり長期的展望を持つ、という
ことですね。この機会に、中国
認識をじっくり再検討してみる
のもいいんじゃないですか。
また、ハノイが新政権を歓迎
しはじめています。日本
共産党がいち早く大歓迎を發表
した。日本共産党にしては、毛
沢東一派ということはいいい続
けたが、鄧小平や劉少奇を一言も
批判したことがない。これはソ
連もそうだと思う。そういう意
味から、ある種の国際共産主義
運動の復元力という可能性まで
出て来ている。

そいう時に、日本自身が民
主連合政権的なものになってた
という話になると、また考え
なきやいけないが、経済界とし
ては、それを抜きにして、中国
を考えていいの、という問題
がある。ある意味では、実権派
路線の方が、厄介な脅威になる
状況が出てきそうな気がする。
谷村 必ずしも、わたしたち
は、日中だけでとらえてません
し、ましてや、日中貿易も、世
界貿易にくみ込まれちゃってま
すからね。わたしたちも、アメ
リカが中国にどう出るか、非常
に興味がある。日中関係はアジ
アの安定に欠かせない要素をも
っている。日中の安定イコール
アジアの安定という点で、今度
の変化は、単に貿易だけではと
らえられない。

—— 本日は、貴重なお話を
ありがとうございました。